

(3) 受援ニーズ及び受援ニーズに対する支援シース（研修会等検討結果）

発災以降のフェーズごとに発生する受援ニーズに対応する支援シースについて、東中南予の圏域別研修会等での検討結果を個票にまとめました。

受援ニーズ一覧表

フェーズ	番号	対象	ニーズ
【発災～避難】	1	一般	リアルタイムで正しい情報の入手(気象、災害発生場所、避難場所、周辺道路状況等)
【発災～避難】	2	一般	失われた家屋や車、生活用品の確保
【発災～避難】	3	子ども(小中学生)	外出先からの安全な帰宅
【発災～避難】	4	子ども(小中学生)	保護者との適切な連絡手段の確保
【発災～避難】	5	女性	未就学児連れや妊産婦の避難
【発災～避難】	6	障がい者	安全な避難のための避難補助
【発災～避難】	7	障がい者	障がいの特性に応じた避難先の把握
【発災～避難】	8	高齢者	歩行困難な方の避難
【発災～避難】	9	高齢者	独居の方の安全な避難のタイミングの把握
【避難所運営】	10	一般	避難所運営マニュアルの活用(作成・周知)等
【避難所運営】	11	一般	必要な物資を必要な時に受領可能
【避難所運営】	12	一般	ごみ処理対策、感染症対策
【避難所運営】	13	一般	人によって異なる就寝時間等の生活リズムへの対応
【避難所運営】	14	一般	プライバシーの確保・窮屈さの解消
【避難所運営】	15	一般	被災した自宅等の片付け
【避難所運営】	16	一般	罹災証明書や義援金受領に係る申請手の把握等
【避難所運営】	17	一般	ペットの居場所の確保
【避難所運営】	18	子ども(小中学生)	ストレス対応など心のケア
【避難所運営】	19	子ども(小中学生)	遊び場の確保や学習支援、見守り
【避難所運営】	20	子ども(小中学生)	子どもの生活に必要な物資の確保(学用品の調達、サイズに合った衣服等)
【避難所運営】	21	女性	運営に女性の声が届かない(更衣・授乳室の設置、乳幼児関連用品や衛生用品等の提供等)
【避難所運営】	22	女性	清潔で明るい男女別トイレの設置等
【避難所運営】	23	障がい者	不安感の緩和
【避難所運営】	24	障がい者	障がい者用トイレの設置
【避難所運営】	25	障がい者	障害の特性に応じた避難場所の確保(重度障がい者等)
【避難所運営】	26	障がい者	車中泊への対応
【避難所運営】	27	高齢者	不足する持病の薬の確保
【避難所運営】	28	高齢者	認知症のある方への対応
【避難所運営】	29	高齢者	体を動かさない、気力がない方への心身のケア
【仮設住宅～生活再建】	30	一般	仮設住宅退去期限後の生活不安の解消
【仮設住宅～生活再建】	31	一般	生活再建に向けた必要な申請手の把握等(何がわかってないかわからない)
【仮設住宅～生活再建】	32	一般	避難生活における心のケアと犯罪の防止
【仮設住宅～生活再建】	33	子ども(小中学生)	教育資金の調達
【仮設住宅～生活再建】	34	子ども(小中学生)	子供向けの居場所の確保
【仮設住宅～生活再建】	35	女性	母子避難者の孤立への対応
【仮設住宅～生活再建】	36	障がい者	障がいの特性に応じた対応(大声が出てしまう等)
【仮設住宅～生活再建】	37	障がい者	障がいの特性についての周囲への周知と支援
【仮設住宅～生活再建】	38	高齢者	住宅外に出てこない方の状況把握
【仮設住宅～生活再建】	39	高齢者	元住所地から離れた孤立感の解消(話し相手、相談相手の確保)
【仮設住宅～生活再建】	40	高齢者	交通手段の確保(通院や買い物に行く足がない)
【全般】	41	外国人	外国からの来県者への支援

フェーズ **【発災～避難】** 番号 **1**
 受援ニーズ 対象 **一般**

リアルタイムで正しい情報の入手(気象、災害発生場所、避難場所、周辺道路状況等)

支援のポイント	想定される支援主体
HPやSNS等でリアルタイムの正確な情報を発信する	行政、中間支援組織、情報発信している企業、NPO、社協、各避難所での活動している方
Webサイト、防災アプリで情報発信する(グループネットワーク)	自治会・町内会(以下、自治会等)、自主防災組織
避難場所を確認しアナウンスする	自治会等、自主防災組織、アマチュア無線の有資格者
防災ラジオによる情報発信	地元コミュニティFM
テレビ、ラジオ、SNS、気象庁HP等から災害情報を収集する	行政、自治会等(役員)、消防団員、自主防災組織
被災状況を情報集約する	行政、社協、自治会等(役員)、自主防災組織
各世帯に情報を伝達し情報共有する	自治会等、自主防災組織、家族、近所の方
自宅周辺の住民に避難の声かけをする	自主防災組織、近隣住民
スマホで災害関連の外国人(中国人)情報グループを作る	中国語サロン、外国人支援活動を行っているNPO
指定された避難所までの安全確認	地元消防団員、アマチュア無線の有資格者

フェーズ **【発災～避難】** 番号 **2**
 受援ニーズ 対象 **一般**

失われた家屋や車、生活用品の確保

支援のポイント	想定される支援主体
避難所開設(家屋)	行政、自治会等、施設管理者(主な利用者)
中古車の共同利用(車)	中古車販売店の協力(レンタカー)、地域での助け合い
備蓄品(毛布や非常食)の配布(生活用品)	行政、自治会等、施設管理者(主な利用者)
集会所への物資の供給	地域の消防士、自治会役員
支援物資を提供する	民間企業、一般県民
外国人に支援物資として生活用品を提供する	外国人支援活動を行うNPO等

フェーズ **【発災～避難】** 番号 **3**
 受援ニーズ 対象 **子ども(小中学生)**

外出先からの安全な帰宅

支援のポイント	想定される支援主体
避難方法を確認する(策定する)	スクールガード、子供会
地域住民(大人)による見回り、呼びかけなどを行う	スクールガード、子供会
勤務先、出先に連絡する	スクールガード、子供会
通学道路のまわりに危険なものがないかチェックし安全確認する	地区の交通安全協会、自治会長、地区の交番、老人会
先生や、高学年の児童・生徒、地域住民で協力して送り届ける	地域、教職員
集団下校、見守り、送迎の実施(校区ごとなど)	学校、校区の見守り隊、保護者、近隣住民
電話での帰宅要請、行先を事前に聞いておくことで対応可能	友達の保護者
車、バスによる送迎	バス会社、近隣住民
バリエーション防災マップ等の提供	マップ作成団体

フェーズ **【発災～避難】** 番号 **4**
 受援ニーズ 対象 **子ども(小中学生)**

保護者との適切な連絡手段の確保

支援のポイント	想定される支援主体
家族に避難先を連絡する	LINEや電話を活用
勤務先、就学先との連絡方法を事前に確認する	学校、保護者
学校の連絡網やSNSなどを作成する	学校、保護者
避難方法を確認する(策定する)	学校、保護者
キッズケータイ、公衆電話の使用・設置場所を教える(公衆電話マップの作成・提供など)	通信事業者
メール送信、連絡網の作成	学校、保護者グループ
マチコミメール等で保護者に連絡	学校、行政など学校連絡用の発信ツール所管団体

フェーズ **【発災～避難】** 番号 **5**
 受援ニーズ 対象 **女性**

未就学児連れや妊産婦の避難

支援のポイント	想定される支援主体
避難する際の声かけと支援(誘導・車を出す)	近隣住民、自主防災組織
移動や避難をサポートする	近隣住民、保健師
平時に必需品リストを把握し、支援者間での情報の共有を図る	近隣住民、保健師
SNS、ラジオ等により情報収集する	自治会等、自主防災組織
適当な避難場所の選定	自主防災組織、消防団、自治会等、近隣住民

フェーズ **【発災～避難】** 番号 **6**
 受援ニーズ 対象 **障がい者**

安全な避難のための避難補助

支援のポイント	想定される支援主体
避難時にある程度今後の見通しをつけた説明をする	行政、自治会等(役員)、自主防災組織
福祉施設を支援する	社協、高齢者等要支援者への支援活動を行うNPO
歩行困難者の移動を支援する	近隣住民、高齢者等要支援者への支援活動を行うNPO
平時に必需品リストを把握し、支援者間での情報の共有を図る	近隣住民、保健師
身体状況やできないこと、対応ツールなどをリスト化する	自治会等、民生委員、社協
民生委員、自主防災組織等に避難支援の依頼、連絡をする	近隣住民
避難困難な住民の情報を消防等に連絡する	近隣住民
要支援者名簿に事前に登録する	本人、家族、行政
移動や避難をサポートする	近隣住民、保健師
避難方法や補助者等を事前に決める	自治会等、民生委員

フェーズ **【発災～避難】** 番号 **6** 続き
 受援ニーズ 対象 **障がい者**

安全な避難のための避難補助

支援のポイント	想定される支援主体
聴覚障害者に情報を伝達する	手話通訳者、手話サークル
安全な場所の見極めと情報収集	市町の行政からの情報伝達、近隣住民の支援
手伝いの出来る方の確認	ボランティア
対象者の把握、声かけ	行政、NPO

フェーズ **【発災～避難】** 番号 **7**
 受援ニーズ 対象 **障がい者**

障がいの特性に応じた避難先の把握

支援のポイント	想定される支援主体
福祉避難所の開設を検討する	行政
避難状況を確認する	アプリの開発、活用
身体状況や何ができないのか等のリスト化、対応ツールのリスト化	本人、家族
平時に必需品リストを把握し、支援者間での情報の共有を図る	近隣住民、保健師
SNS、ラジオ等により情報収集する	自治会等、自主防災組織
移動や避難をサポートする	近隣住民、保健師
平時から地域住民カードを作りどんな方が住んでいるのかを把握する	自治会等、民生委員、社協、防災士、消防団員
障害の特性に応じた情報提供支援	ボランティア、社協、手話通訳団体等
対象者の把握、声かけ	行政、NPO、自治会等
まわりの生存確認、状況確認、避難要請	行政、自主防災組織

フェーズ **【発災～避難】** 番号 **8**
 受援ニーズ 対象 **高齢者**

歩行困難な方の避難

支援のポイント	想定される支援主体
避難状況を確認する	自治会等、民生委員、児童委員
ボートやマイクロバスを手配する	行政
車イス、ストレッチャーの準備	社協、レンタル業者、医療機関、消防
車椅子用車両での移動	高齢者、福祉施設
自主防災組織等、地区の関係者が使用可能なツールやリストを作成する	
避難をするよう声かけをする	
避難所までの移動・避難をサポートする	近隣住民、保健師、家族、民生委員、自治体、民間
自治会の中の要支援者名簿による呼びかけ	自治会等、自主防災組織
要支援者名簿への事前登録	本人、家族、行政
家族との連絡方法、避難場所などを事前相談することで協力可能	ケアマネージャー、高齢者支援に関わるNPO、自治会等、民生委員

フェーズ **【発災～避難】** 番号 **9**
 受援ニーズ 対象 **高齢者**

独居の方の安全な避難のタイミングの把握

支援のポイント	想定される支援主体
決定した避難場所を周知する(防災メール、電話、自治会放送等)	行政、ケアマネージャー、家族、親族、自治会等(会長)、近隣住民、民生委員
平時の見守りと確認	自治会等役員、民生委員・児童委員、地区社協(支部)、見守り推進員(市町社協)
要援護者・独居高齢者の居場所を把握する	自治会等、防災士、民生委員、行政
避難時の付き添い	民生委員、近隣住民

フェーズ	【避難所運営】	番号	10
受援ニーズ		対象	一般

避難所運営マニュアルの活用(作成・周知)等

支援のポイント	想定される支援主体
避難所ごとの運営マニュアルの作成を支援する	行政、自主防災組織
運営マニュアル作成会議の開催	地域の防災士、自主防災組織
多様な視点から対応する(初動からの多様な人材による運営)	災害対応経験者、地域の防災士、自主防災組織

フェーズ	【避難所運営】	番号	11
受援ニーズ		対象	一般

必要な物資を必要な時に受領可能

支援のポイント	想定される支援主体
避難所の鍵の保管(迅速な避難所の開設)	自治会等、自主防災組織
避難されている方に必要な物資を調査する(時間の経過、年齢別)	行政、社協、ボランティア、スーパー等
物資の調達に向けた情報発信(SNS等)、物資の引き渡し場所の情報を提供する	民間企業、一般市民、行政、近隣住民、ボランティア
必要な物資の提供、支援物資の配布	民間企業、一般市民、行政、近隣住民、ボランティア
支援物資の仕分け・管理	行政、社協、ボランティア、自主防災組織、避難者
ニーズに対するボランティアとのマッチング	災害ボランティアセンター

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **12**
 受援ニーズ 対象 **一般**

ごみ処理対策、感染症対策

支援のポイント	想定される支援主体
ゴミの集積場所の情報提供	行政
ゴミ処理方法等の広報啓発	行政等
ごみの収集	行政
処分(指定)場所の設定、表示、周知	行政、避難者
分別表示、周知	行政、避難者
清掃	避難者
衛生や感染症対策に関する学習会の開催	防災士、行政
保健師、看護師の訪問	保健センター(行政)、日赤、DMAT
消毒、隔離、早期の治療	行政、NPO、避難者自身

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **13**
 受援ニーズ 対象 **一般**

人によって異なる就寝時間等の生活リズムへの対応

支援のポイント	想定される支援主体
避難所内のゾーニング、世帯ごとのパーテーション	行政、企業(建築、アウトドア関連など)、避難所の自治組織
避難所内でのルール作成、周知	行政、避難所運営チーム

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **14**
 受援ニーズ 対象 **一般**

プライバシーの確保・窮屈さの解消

支援のポイント	想定される支援主体
パーティション等日頃からの準備、部屋等の適切な割り振り	自治会等、自主防災組織、福祉施設、行政
ルール設定	行政、避難者
段ボールでの棒柱と布での仕切りの作成	災害救援や防災活動を行うNPO法人等、避難者
段ボールやスペースを区切れる物の調達	地域内外の企業、災害救援や防災活動を行うNPO等

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **15**
 受援ニーズ 対象 **一般**

被災した自宅等の片付け

支援のポイント	想定される支援主体
片付けの手伝いをする(マンパワーの確保)	ボランティア(一般、学生主体)
土砂、ガレキ、清掃、消毒	ボランティア、重機操作等の技能を持つNPO
ボランティアの募集、要請	災害ボランティアセンター、社協、ボランティア団体、行政、民間企業
倒壊した家屋を調査する	地元の大工、社協、建築士
重機の投入	企業(建設業など)、市町社協、重機を所有するNPO
ゴミ処理方法の周知	社協、避難所の施設管理者、避難者
重機の貸し出し、人手の貸し出し	自主防災組織、企業、NPO、行政
近隣住民との助け合い	近隣住民、災害ボランティア、NPO

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **16**
 受援ニーズ 対象 **一般**

罹災証明書や義援金受領に係る申請手続の把握等

支援のポイント	想定される支援主体
避難所での相談窓口の開設	行政(他市町村の応援含む)、共募、日赤事務局、士業団体
被災した方への情報発信(各避難所、HP、SNS)	行政、社協、避難者を含めて避難所運営に携わる方
申請手続きの方法を掲載したチラシ等の配布・掲示、HP、SNS、ポスター掲示での広報による周知	行政、情報誌発行のノウハウのある企業やNPO、士業団体
手続きマニュアルの作成、周知	行政、住民、情報誌発行のノウハウのある企業やNPO、士業団体
説明会の開催	行政、ボランティア

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **17**
 受援ニーズ 対象 **一般**

ペットの居場所の確保

支援のポイント	想定される支援主体
ペット用スペースを確保する	避難者自身
ペットを預かる場所づくり	民間企業、NPO法人、ボランティア
平時からペットと避難するにはどうするかの情報提供	NPO、動物病院、動物愛護活動を行うNPO、動物愛好家団体
避難所でのスペースの割り振り、世話、預かりボランティアによる預かり	被災者の中のボランティア、ペット関係の活動をしているボランティア
運動場にペットの預かり場所	地域猫のボランティア団体、獣医師、動物愛好家団体
同行避難所(ペット可)の事前協定等	獣医学部(大学)、動物関連施設

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **18**
 受援ニーズ 対象 **子ども(小中学生)**

ストレス対応など心のケア

支援のポイント	想定される支援主体
フットマッサージをしながらのカウンセリング	足の健康増進に取り組むNPO、健康体操や傾聴を行うNPO
傾聴によるケア	傾聴ボランティア、カウンセラー、支援団体(NPO、ボランティア団体)
不安の訴えの傾聴	PHN、精神保健ボランティア、精神保健福祉士会等職能団体
心のケアを提供する	臨床心理士会と連携、癒し系の活動を行うNPO
カウンセラーの派遣	行政、臨床心理士会、学校
心理カウンセリング	心理カウンセラー、家族
遊び場、本、おもちゃの提供	民間企業、NPO法人、ボランティア
一緒に遊ぶ、お話をする	ボランティア、教員・保育士等のOB・OG
読み聞かせなど余暇活動プログラム	NPO、読み聞かせグループ、地域の高齢者

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **19**
 受援ニーズ 対象 **子ども(小中学生)**

遊び場の確保や学習支援、見守り

支援のポイント	想定される支援主体
遊び場を提供する	幼稚園等との連携、公園管理者、NPO、ボランティア(一般、学生、教員OB、OGなど)
子どもに遊びや勉強が必要であることを広報する	教員経験のある被災者・学生ボランティア
スペース、机、椅子、遊具、本などを確保する	学用品メーカー(企業)支援、リサイクル活動団体
子どもの声が気になる方に対応する、子ども用のスペースを分ける	避難所運営委員会
その場所に行って行う(学習)、避難所の一角に設ける(遊び場)	教育関係者、地域、学生ボランティア
避難所での子どもサロン開設、保育支援	被災者ボランティア、学生(被災者外の)民生児童委員など子どもサロン関係者
避難所児童クラブを開設	放課後児童支援員有志
学習支援、学習教室見守り、子ども教室支援	学校、地域、学生ボランティア、大学生、退職教師、学習塾指導者
教室の確保、先生の確保、指導者の確保	自主防災、行政、NPO、地域に残った教師
プログラムの提供	NPO子ども食堂、VYS

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **20**
 受援ニーズ 対象 **子ども(小中学生)**

子どもの生活に必要な物資の確保(学用品の調達、サイズに合った衣服等)

支援のポイント	想定される支援主体
学用品の調達	リサイクル市、NPO、SNS
物資の支援	企業から、全国からの支援
おさがりバンクの活用	ボランティア団体
支援物資の分配	災害ボランティアセンター、行政、NPO、避難者有志
物資のマッチング	ボランティアセンター、青年会議所、NPO

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **21**
 受援ニーズ 対象 **女性**

運営に女性の声が届かない(更衣・授乳室の設置、乳幼児関連用品や衛生用品等の提供等)

支援のポイント	想定される支援主体
傾聴によるケア	ボランティア、避難者相互、カウンセラー
衛生用品等の提供	企業、一般
プライベートスペースの確保	行政、保健センター、避難所運営委員会、NPO
地域内の女性団体を頼る	婦人会、女性のための支援活動を行うNPO
女性専用窓口を設ける	行政、避難所運営委員会、各種相談窓口を開設する団体
粉ミルクや紙おむつ等の提供	民間企業、子育て支援活動等を行うNPO
運営会議への女性参画の配慮	自主防災組織、避難所運営に携わる方
要望箱の設置及びその調整	民間企業(物品協力)、行政、NPO、社協、ボランティア等(避難所運営)
地元婦人会からの意見集約	婦人会

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **22**
 受援ニーズ 対象 **女性**

清潔で明るい男女別トイレの設置等

支援のポイント	想定される支援主体
簡易トイレを確保・提供する	行政、製造や小売りの企業、防災活動を行うNPO
仮設トイレの設置(女性専用)	行政、避難所運営に携わる方
事前学習会の開催、事前準備	行政、自主防災組織、自治会等、社協、防災活動を行うNPO
更に、女性、障害者、高齢者、LGBT、子供にも配慮した多目的トイレを用意する	行政、避難所運営に携わる方、要配慮者支援の活動を行うNPO

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **23**
 受援ニーズ 対象 **障がい者**

不安感の緩和

支援のポイント	想定される支援主体
フットマッサージをしながらのカウンセリング	足の健康増進に取り組むNPO、健康体操や傾聴を行うNPO
障がい特性に合わせた環境づくりを行う	障がい者支援事業の実施者、障がい者支援活動を行うNPO
日常と同じ生活を心がけることができるよう支援	専門職、民間、障がい者支援活動を行うNPO等
声かけ、傾聴によるケア	家族、社協、保健センター、ボランティア、臨床心理士会と連携・被害者支援に携わる相談員
傾聴(不安の訴えを聞く)によるケア	精神保健ボランティア、傾聴ボランティア→専門職への橋渡し
視聴覚障がい者のコミュニケーション支援	手話ボランティア、朗読ボランティア
障がいに応じた援助者の確保	事前登録、行政、連絡方法の確立(自主防災-行政の連携)
避難所内の全体の確認	避難所運営委員会、避難者の中のボランティア
電源・コンセントの確保	避難所運営委員会、避難者の中のボランティア
手助けしてくれる人の確保、避難所内で生活できない場合の対応(課題)	避難所運営委員会、避難者の中のボランティア、かかりつけ医への(事前)相談

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **24**
 受援ニーズ 対象 **障がい者**

障がい者用トイレの設置

支援のポイント	想定される支援主体
ユニバーサルトイレのある避難所の事前把握	行政(避難所リストに含めておく)、障がい者支援活動を行うNPO
事前準備	行政、自主防災組織、自治会等、障がい者支援活動を行うNPO
避難先の確認と確保	行政、自主防災組織、自治会等、障がい者支援活動を行うNPO
避難所内の全体の確認	避難所運営委員会、避難者の中のボランティア
電源・コンセントの確保	避難所運営委員会、避難者の中のボランティア
避難所内で生活できない場合の対応(課題)	かかりつけ医や障がい者支援施設等への(事前)相談
手助けしてくれる人の確保(課題)	避難所運営委員会、避難者の中のボランティア

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **25**
 受援ニーズ 対象 **障がい者**

障害の特性に応じた避難場所の確保(重度障がい者等)

支援のポイント	想定される支援主体
受入先の割り振りを行う	病院、介護施設
障がい特性に合わせた環境づくりを行う	障がい者支援事業の実施者
避難所での割り振り、福祉避難所の早期立ち上げ	施設職員、保護者の会、福祉施設、障がい当事者団体ネットワーク
被災地からの脱出(可能な方)他地域の施設での分散避難	他地域の施設、病院等(広域協力)
避難先の確認と確保	かかりつけ医や障がい者支援施設等への(事前)相談
避難所内の全体の確認	避難所運営委員会、障がい者支援に知見のある方
電源・コンセントの確保	避難所運営委員会、避難者の中のボランティア
避難所内で生活できない場合の対応(課題)	かかりつけ医や障がい者支援施設等への(事前)相談
手助けしてくれる人の確保(課題)	避難所運営委員会、障がい者支援に知見のある方

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **26**
 受援ニーズ 対象 **障がい者**

車中泊への対応

支援のポイント	想定される支援主体
福祉施設での受入れ調整等、福祉避難所の早期開設	行政、障がい者支援活動を行うNPO
障がい者に対応できる避難所への移動	行政、障がい者支援活動を行うNPO

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **27**
 受援ニーズ 対象 **高齢者**

不足する持病の薬の確保

支援のポイント	想定される支援主体
薬剤を確保する	薬剤師会(協定)、調剤薬局流通備蓄(協定)、DMAT、JMAT(医師会)
おくすり手帳の携帯の啓発、自分が飲んでいる薬名を言えるようにする	薬剤師会等、自治会等(情報記載カードの携帯を啓発)
薬の処方、病状の安定	医療機関(病院)、薬局、介護事業所
避難所での移動診療、出張診療など	医師、薬剤師
おくすり手帳アプリでの家族間共有(現在は共有できない?)	薬剤師、アプリ開発業者
薬の提供(または薬の確認のみでも。かかりつけの病院への相談後、緊急の場合)※希望	病院、医療関係者(※希望)、調剤薬局流通備蓄

フェーズ	【避難所運営】	番号	28
受援ニーズ		対象	高齢者

認知症のある方への対応

支援のポイント	想定される支援主体
受入先を地域別に確保する	行政、病院、高齢者向け施設
認知症の方に対応する	地域にあるグループホームとの連携、認知症サポーター
傾聴によるケア	ボランティア、傾聴活動を行うNPO
落ち着いて過ごせる場所の確保	家族、介護事業所
周囲の方への介護指導、当事者の気持ちの受容等	認知症サポーター、介護専門職の派遣
認知症の対応が理解できる、パニック進行を防ぐ	認知症サポーター、包括スタッフ、認知症対応経験のある方

フェーズ	【避難所運営】	番号	29
受援ニーズ		対象	高齢者

体を動かさない、気力がない方への心身のケア

支援のポイント	想定される支援主体
フットマッサージをしながらのカウンセリング	足の健康増進に取り組むNPO
傾聴によるケア	傾聴ボランティア、福祉ボランティア団体
レクリエーションを提供する	ボランティア、高齢者支援活動を行うNPO
健康講座や運動講座を開催する	保健師、高齢者支援活動を行うNPO
ストレスケア	傾聴ボランティア、臨床心理士、保健師、カウンセラー
みんなで運動をする、スポーツの先生に来てもらう	民間ボランティア、健康体操指導者、高齢者支援を行うNPO
活動・気分転換できる機会づくり	保健センター、介護事業所、社協のサロン活動
エコノミー症候群にならないようにする(体操)、うつ状態にならない様に声かけやカフェなどを作る	笑いヨガ愛好家、読み聞かせボランティア、社協、自治婦人会、犬猫動物愛好家
マッサージをする、お話をする	誰でも
軽度の体操の実施、体操教室	ボランティア(健康推進員、笑いヨガリーダー)、福祉ボランティア団体

フェーズ **【避難所運営】** 番号 **29** 続き
 受援ニーズ 対象 **高齢者**

体を動かさない、気力がない方への心身のケア

支援のポイント	想定される支援主体
体を動かす機会の提供	「貯筋体操」を実施しているサークル
避難所での保健教室	市、保健センター、住民グループ
1人にしない環境づくり	NPO、病院、ケアマネージャー、介護師、保健師、行政、自主防災
時間を決めて皆で動く、動かしてあげる	自主防災、NPO、整体師、看護師、介護経験のある人
フレイル防止(廃用障害を防ぐ)、心のケア	保健師、NS、PT、運動士、OT、Dr、ボランティア話し相手、子供(小さい子)
プログラムの提供	笑いヨガ(健康法)の指導者

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **30**
 受援ニーズ 対象 **一般**

仮設住宅退去期限後の生活不安の解消

支援のポイント	想定される支援主体
情報の提供、収集、ケアチームでの対応	地域支え合いセンター、相談員、民生委員、行政窓口(出張)
仮設住宅訪問相談、巡回相談	地域支え合いセンター、相談員、民生委員、行政窓口(出張)
相談内容に応じた相談、場所開設	行政、NPO、自治会
相談窓口を設置する	シルバー人材センター、行政
空き家を利用できるよう生活費・家賃の補助を行う	行政
住宅家賃補助	行政(国、県、市)
低家賃の住宅を紹介する	民間不動産会社
保証人の要件緩和	家主
家屋の廃材を撤去する	NPO、空き家BANK、CSR活動に関心のある企業
義援金を支給する	行政、赤十字、赤い羽根共同募金、放送局等企業

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **30** 続き
 受援ニーズ 対象 **一般**

仮設住宅退去期限後の生活不安の解消

支援のポイント	想定される支援主体
生活再建支援金を支給する	行政
被災者の福祉貸付金	行政、県社協
生活費の保障	行政(国、県、市)
生活資金を考える	社協、その地区の自治会等、行政、民生委員
就業先の紹介、働く場所の提供(雇用の確保)	ハローワーク、国
カウンセリングを実施する	NPO、保健師、カウンセラー
健康管理の1つとして足の健康にも配慮し歩行を促す(健康管理)	足の健康増進に取り組むNPO、健康体操指導者
相談、面接が出来る方を派遣する	民生委員、組長(自治会等)
近所づきあいができる様にする	社協、その地区の自治会等、行政、民生委員
家から出て他人との会話ができる場所を作る	社協、その地区の自治会等、行政、民生委員、NPO

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **30** 続き
 受援ニーズ 対象 **一般**

仮設住宅退去期限後の生活不安の解消

支援のポイント	想定される支援主体
人が集まって自分の気持ちを言う事が出来る場づくり	NPO法人、ボランティア、自治会等
話や相談ができる場。環境づくり	近隣の住民、自治会等、社協(サロン)、NPO
仮設住宅に移った方々のコミュニティにおける座談会の開催	地域支え合いセンター、相談員、民生委員、行政窓口(出張)
お話し会の開催	地域支え合いセンター、相談員、民生委員、行政窓口(出張)

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **31**
 受援ニーズ 対象 **一般**

生活再建に向けた必要な申請手続の把握等(何がわかってないのかわからない)

支援のポイント	想定される支援主体
申請手続の相談窓口を設置する	行政、社会福祉団体、士業団体
相談窓口(ワンストップ)の設置	行政、行政OB
よろず相談窓口を設置	弁護士会、司法書士会、士業団体、社協
総合窓口の設置	行政、ヘルパー
広報パンフレット等により周知する	行政(国、県、市)
各種申請の手伝い	行政、社会福祉団体、行政書士会
担当課からの証明文書の送付につなげるため個人からの聞き取りを行う	行政職員等守秘義務のある方
相談会を開催する	士業の団体、弁護士会、司法書士会等、行政(国、県、市)
生活再建に向けての説明会、相談会の開催	行政、NPO、NPO法人
生活資金相談窓口を開設する	士業の団体、弁護士会、司法書士会等

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **31** 続き
 受援ニーズ 対象 **一般**

生活再建に向けた必要な申請手続の把握等(何がわかってないのかわからない)

支援のポイント	想定される支援主体
申請窓口を紹介する	士業の団体、弁護士会、司法書士会等
要領を記載した手続等の案内を行う	士業の団体、弁護士会、司法書士会等
司法書士などに来てもらい避難所でセミナーを開催する	行政、士業
手続きの簡略化	行政(国、県、市)
相談員、アドバイザーとしての助言	行政、行政OB
情報提供(相手の方の特性に応じた分かりやすい手段で)	行政、自治会、ボランティアで周知する、手訳、筆記、朗読等で情報伝達、マスメディアの協力
情報を伝える掲示板の設置(避難所内に)	避難所スタッフ、行政
誰でもわかるマニュアルの作成・配布	行政(作成)、翻訳できる団体(外国人向け)
情報の提供、収集、ケアチームでの対応	地域支え合いセンター、相談員、民生委員、行政窓口(出張)
仮設住宅訪問相談、巡回相談	地域支え合いセンター、相談員、民生委員、行政窓口(出張)

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **31** 続き
 受援ニーズ 対象 **一般**

生活再建に向けた必要な申請手続の把握等(何がわかってないのかわからない)

支援のポイント	想定される支援主体
仮設住宅に移った方々のコミュニティにおける座談会の開催	地域支え合いセンター、相談員、民生委員、行政窓口(出張)
お話し会の開催	地域支え合いセンター、相談員、民生委員、行政窓口(出張)

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **32**
 受援ニーズ 対象 **一般**

避難生活における心のケアと犯罪の防止

支援のポイント	想定される支援主体
専門家により相談室を設置する	保健師、カウンセラー
高齢者に対するサロンの開催	社協、高齢者支援活動を行うNPO
同じ境遇にある方々との交流	近隣の住民、避難者
今後の見通しを説明する	行政、自治会等(役員)、避難所運営委員会
孤独状況を回避する(1人ぼっちにしない)	カウンセラー、保健師
相談室、コールセンターを開設する	ボランティア、保健センター
傾聴ボランティアによる心のケア	ボランティア、傾聴活動を行うNPO
傾聴による心のケア(そばで話を聴く)	カウンセラー、保健師
必要時、受診勧奨	若者、保健師、社協、避難所内の避難者
元気付けるイベントの開催(餅つき、炊き出し)	ボランティア団体、自治会等

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **32** 続き
 受援ニーズ 対象 **一般**

避難生活における心のケアと犯罪の防止

支援のポイント	想定される支援主体
ぬいぐるみプロジェクト(ぬいぐるみを使用したストレスケア)	一般、NPO
ピアカウンセリング	当事者同士
思いの掃き出し会	当事者同士
定期カウンセリング	カウンセラー
それぞれの心の状態により傾聴及びカウンセリングを依頼	ボランティア、カウンセラー、保健師
個別相談、グループでのヒアリングの実施	保健師、NPO、被害者支援を行う団体
相談窓口の開設と啓発を行う	社協、保健センター、被害者支援を行う団体
自宅の状況を把握できるようにする	
避難所での貴重品預かりを行う	
青パトでのパトロール(犯罪防止のための見まわり)を実施する	警察、青色防犯パトロール認可を受けた自治会等

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **32** 続き
 受援ニーズ 対象 **一般**

避難生活における心のケアと犯罪の防止

支援のポイント	想定される支援主体
防犯パトロール、見回りを実施する	地域役員、若者、地域の防犯協会
パトロール強化	警察署、避難者
防犯組織を作る	住宅内でのコミュニティ

フェーズ

【仮設住宅～生活再建】

番号

33

受援ニーズ

対象

子ども(小中学生)

教育資金の調達

支援のポイント	想定される支援主体
個別相談、相談窓口の開設	民間の基金
あしなが育英会との連携による奨学金給付	ファイナンシャルプランナー協会
奨学金、学資ローンの貸与、給付	ファイナンシャルプランナー、金融機関、日本学生支援機構、行政
支援金等の情報を提供する	ファイナンシャルプランナー・金融機関・日本学生支援機構
公的貸付金制度の創設	行政
資金貸付制度の紹介	社協、行政
融資の相談	金融機関
教育資金の貸付	福祉基金(社協)
移動銀行の開設	各銀行、金融機関
基金、融資申し込みの補助(申し込み方法の開示)	行政、一般団体、NPO

フェーズ

【仮設住宅～生活再建】

番号

34

受援ニーズ

対象

子ども(小中学生)

子供向けの居場所の確保

支援のポイント	想定される支援主体
子どもの遊び場を確保、提供する	児童クラブ、児童館(出張)、子ども食堂運営団体、子育て支援活動を行うNPO
公園、公民館を開放する	教育委員会、地域による協議、行政
公園を活用する	PTA、保護者会、子育て支援活動を行うNPO
空地での公園の開設	行政、自治会
幼稚園や学校の空きスペース、介護施設などの民間企業スペースの提供	学校、行政、民間企業、福祉施設運営団体
学校施設(空き教室)の開放	学校、ボランティア、幼稚園
イベントを開催する	子育て支援やまちづくり活動を行うNPO、自治会等
学校、家庭以外の居場所の提供	子ども食堂、商店街内
こども食堂を運営する	PTA、保護者会、子ども食堂運営活動を行うNPO
子供同士のふれあいの機会提供	子供会、愛護班、子育て支援活動を行うNPO

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **34** 続き
 受援ニーズ 対象 **子ども(小中学生)**

子供向けの居場所の確保

支援のポイント	想定される支援主体
児童クラブ開園	行政、ボランティア、NPO法人
児童館、遊び場の整備	行政、ボランティア、NPO法人
障がい児の居場所の確保	行政、児童発達支援センター
居場所づくり	ふれあいいいききサロン(社協)、ボランティア
公民館など公共施設、学校施設などを利用した見守り	地域、学生ボランティア、放課後児童支援員、教員OBOG
部屋の確保	児童館、図書館、公民館等被災してない公の施設

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **35**
 受援ニーズ 対象 **女性**

母子避難者の孤立への対応

支援のポイント	想定される支援主体
家庭数の把握と声かけを行う	保健師、民生委員
相談員による巡回を行う	母子指導員
コミュニティづくりを行う	自治会等、地域の子ども会、民生委員
人と話をする機会の提供	自治会等、地域の子ども会、社協、子育て支援活動を行うNPO
悩みを聞き、皆の輪に入れてあげること	カウンセラー、NPO法人、相談員、自治会等、避難者
世代を超えた交流の機会づくり	公民館、児童館、社協、自治会等、子育て支援を行うNPO
同じ立場の人のグループづくり(LINEなどSNS)	母子避難者、支援者自身
同じような境遇のグループミーティングの実施	NPO、民生委員、自治会等で見守り
避難所内に子育て支援センターの開設	保育士、教師、助産師
避難所でのイベント開催などの交流のきっかけづくり	子育てサークル、読み聞かせなどの子供関連ボランティア、保育園の子育て支援センター

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **35** 続き
 受援ニーズ 対象 **女性**

母子避難者の孤立への対応

支援のポイント	想定される支援主体
同じ立場の人の自助	自助グループ
ニーズ(対象者)の確認	校区、サロン、自治会等、民生委員、社協

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **36**
 受援ニーズ 対象 **障がい者**

障がいの特性に応じた対応(大声が出てしまう等)

支援のポイント	想定される支援主体
別室等での対応を検討する	医師、専門家、障がい者支援センター
個室を確保する	福祉施設
障がい者に対応し支援を行う	NPO(障がい者支援団体、ヘルパー)
コミュニティづくりを行う	障がい者支援センター、障がい者支援活動を行うNPO
安心できる居場所の確保	社会福祉団体、行政
プライベートを守れるようにする	社会福祉団体、行政
福祉施設避難所、施設の利用(デイ・ショート)	施設、病院、作業所
障がい者に対応できる避難所への移動	施設、病院、作業所
避難所でのイベント開催などの交流のきっかけづくり	子育てサークル、読み聞かせなどの子供関連ボランティア、保育園の子育て支援センター
障がい種別問わず安心して生活できる仮設住宅の確保(課題)	行政、福祉施設、障がい者支援に専門知識のある方

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **36** 続き
 受援ニーズ 対象 **障がい者**

障がいの特性に応じた対応(大声が出てしまう等)

支援のポイント	想定される支援主体
自分に必要な日用品の確認	家族、かかりつけ医、障がい者支援を行う施設や団体
医療及び福祉車両の確保	社協、福祉施設

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **37**
 受援ニーズ 対象 **障がい者**

障がいの特性についての周囲への周知と支援

支援のポイント	想定される支援主体
障がい者専用避難所への移動	行政、保護者
説明会を事前に開催する	障がい者支援センター、保健師、精神科医
コミュニティづくりを行う	保護者会、保健師、社協、福祉施設、特別支援学校
事前を知ってもらう事が大事(周知方法の検討)、被災後は周りに理解を求める	障がい者施設、行政、社協、民間支援団体
お助けカードを作る、特性を知ってもらう	当事者、支援者、福祉担当者
日常からの理解促進の勉強会開催、一緒に避難訓練	自主防災組織、障がい児の保護者会、特別支援学校
障がい種別問わず安心して生活できる仮設住宅の確保(課題)	行政、福祉施設(みなし仮設)
仮設住宅からの居場所を確保	行政、社協、障がい者支援を行うNPO
自分に必要な日用品の確認	家族、かかりつけ医、障がい者支援を行う施設や団体
医療及び福祉車両の確保	社協、福祉施設

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **38**
 受援ニーズ 対象 **高齢者**

住宅外に出てこない方の状況把握

支援のポイント	想定される支援主体
見守りのため各家庭への個別訪問を行う	地域包括支援センター
個別訪問	ケアマネージャー、行政、自治会等、民間企業
見廻りを実施する	民生委員、地域役員、見守り隊、ケアマネージャー
住宅外に出てこない方々の状況を把握、確認する	自治会、地域の区長等、民生委員、見守り推進員、介護事業所、ご近所、ボランティア、保健師、
状況調査を実施する	民生委員、自治会等
入手した要支援者名簿をもとに支援する	自主防災組織、地域包括支援センター
コミュニティづくりを行う	近隣住民、自治会等、民生委員、高齢者支援活動を行うNPO
イベントの紹介	ケアマネージャー、行政、自治会等、民間企業
週1回以上の声かけ(必要なら家の中で)	近隣住民、自治会等
家庭訪問、集会所への誘導	自主防災組織、地域自治会等

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **38** 続き
 受援ニーズ 対象 **高齢者**

住宅外に出てこない方の状況把握

支援のポイント	想定される支援主体
フットマッサージをしながらのカウンセリング	足の健康増進に取り組むNPO、高齢者支援活動を行うNPO
孤立しないための声かけ	民生委員、見守り推進員、介護事業所、近隣住民
話し相手になる	近隣住民、ボランティア、自治会等、傾聴ボランティア
定期的に訪問や電話をする	家族、近隣住民、見守り推進員
自宅訪問、声かけ(近隣による)	ふれあいいいききサロンメンバー
訪問相談、傾聴ボランティア	行政、支え合いセンター、傾聴ボランティア

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **39**
 受援ニーズ 対象 **高齢者**

元住所地から離れた孤立感の解消(話し相手、相談相手の確保)

支援のポイント	想定される支援主体
元住所地のコミュニティ(まち協)情報を提供する	民生委員
訪問活動を行う	NPO
寄合場所を作る	NPO、ボランティア
気軽に集まれる場を作る	近隣住民、自治会等
お茶飲み場所づくりを行う、カフェで顔の見える環境を作る	NPO、民間企業、社協、自治会等、民生員、ボランティア
相談の場づくり	専門職
交流の場づくり	行政、社協、民生、自治会等、リーダーなど交流の場が作れる人
同年代の人との交流の場づくり	行政、社協、民生、自治会等、リーダーなど交流の場が作れる人
居場所づくり、サロン活動	ふれあいいきいきサロンを作る(社協)、ボランティア
サロンスペースの設置	公民館、スーパー等普段の利用が多い場、シルバー人材センター

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **39** 続き
 受援ニーズ 対象 **高齢者**

元住所地から離れた孤立感の解消(話し相手、相談相手の確保)

支援のポイント	想定される支援主体
世代交流場づくり	公民館、スーパー等普段の利用が多い場、シルバー人材センター
フットマッサージをしながらのカウンセリング	足の健康増進に取り組むNPO、高齢者支援活動を行うNPO
近くの地域の方々と一緒にエリアで住めるよう配慮する	民間企業、社協、自治会等、民生員、ボランティア
イベントの実施	近隣住民、自治会等
サークル化する	趣味の会、公民館活動
状況を把握、確認する	近隣住民、ボランティア、自治会等、傾聴ボランティア(状況調査)
話し相手になる	近隣住民、ボランティア、自治会等
傾聴ケア、共有スペースでの雑談	福祉ボランティア、近隣住民
新しい地域での役割の相談(仕事づくり)	公民館、スーパー等普段の利用が多い場、シルバー人材センター

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **40**
 受援ニーズ 対象 **高齢者**

交通手段の確保(通院や買い物に行く足がない)

支援のポイント	想定される支援主体
移動販売を実施する、移動スーパー	民間企業(スーパー、コンビニ、パン屋、生協等)、NPO、小売店等
移動販売による避難所巡回	スーパー、NPO
デマンドタクシーの臨時便	行政、企業、自治会等
臨時タクシー、乗り合いタクシーを運行する	行政、企業(運輸)
乗り合わせバスでの通院、マイクロバス等の定期運行	行政、社協、近隣住民、民間企業(バス会社)、自治会等
地域巡回タクシーの運行、乗り合わせ	企業、自治会等
マイカーでの手伝いを行う	ボランティア
無料バス	行政、社協、JA
車両での運送	介護事業所
コミュニティ交通の支援を行う	NPO

フェーズ **【仮設住宅～生活再建】** 番号 **40** 続き
 受援ニーズ 対象 **高齢者**

交通手段の確保(通院や買い物に行く足がない)

支援のポイント	想定される支援主体
訪問診療の実施	医療機関
ネット診療の実施	医療機関
ヘルパーによる支援	介護事業所
買い物代行	近隣住民、NPO、企業(小売業)、郵便局
一緒に出掛ける	家族、近隣住民
移動時の介助等	外出介助ボランティア、民間タクシー
ネット販売による支援	スーパー、NPO、小売店、IT企業等

フェーズ	【全般】	番号	41
受援ニーズ		対象	外国人

外国からの来県者への支援

支援のポイント	想定される支援主体
言葉が分からないとの不安を解消するカードの作成	行政、NPO法人、外国人を支援している人
外国人(中国人)の言葉を通訳する	中国語サロン、外国人支援を行っているNPO